



ささぶえ

学校教育目標

「たくましく未来を切り拓く児童の育成」

竹島小学校 学校だより

2024年12月18日(水)

No.22 文責：太宰

☆人権教育参観日、講演会、個人面談へのご参加ありがとうございました☆

14日の人権教育参観日で、人権の授業参観、SNS親子講演会を行いました。多くの保護者のみな様の参加、ありがとうございました。授業では、自分・友だち・家族・世の中・歴史のことについて考える授業がありました。子どもたちは自分の考えを書いたり、伝えたりしていました。講演会は、少年サポートセンターの弘田指導主事と佐々木副所長をお招きし、小学生にもわかりやすい内容でした。SNSで起こっているトラブルのことや、正しく使うための留意点を学習しました。子どもたちは、弘田指導主事の話に素直な反応を示し、自分事として話を聞いていました。これからの使い方につなげたいですね。保護者のみな様にはイス等の後片付けをしていただき助かりました。6年生も残って片付けてくれました。言われていないのに気付いて行動できる、日ごろからやっているののでできていることだと思います。嬉しく思いました。

個人面談では、限られた時間でしたが面談していただきありがとうございました。学校のお子さんのがんばりや様子について、担任から話があったと思います。今後も家庭と学校とで連携を取りながら、子どもたちの成長や安心できる学校生活につなげていきたいと思っております。お子さんのことで、気になることや気をかけておくことなどありましたら、ご連絡ください。



子どもたちの気持ちが詰まった【赤い羽根共同募金】を、17日の生活朝会で、児童会より社会福祉協議会の今村さんに渡しました。募金へのご協力ありがとうございました！



～うれしいこと～

○学校へ週1回来る生協さんが、「竹島小学校の子どもたちはあいさつがいいですね。子どもたちからあいさつをしてくれます。この前は子どもたちが正門を閉めてくれて、車を下りなくてよかったです。」と言ってくれました。」と、事務の山崎さんから聞きました。嬉しいことなので生活朝会で聞いてみると、6年生と2年生に門を閉めてくれた人がいました。よく気が付きますね。感心しました。すばらしいの一言です。